様式５の４　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【令和６年度定例報告用】

褥瘡対策に係る報告書

|  |  |
| --- | --- |
| 保険医療機関コード： |  |
| 保険医療機関名： |  |

|  |
| --- |
| 褥瘡対策の実施状況（令和６年７月１日における実績・状況） |
| 1. 入院患者数（令和６年７月１日の入院患者数）
 | 名 |
| ②　①のうち、ｄ１以上の褥瘡を有していた患者数　（褥瘡保有者数） | 名 |
| ③　②のうち、入院時に既に褥瘡を有していた患者数（入院時褥瘡保有者数） | 名 |
| ④　②のうち、入院中に新たに褥瘡が発生した患者数 | 名 |
| ⑤　体圧分散マットレス等に関する体制の整備状況 |
|  |
| ⑥　褥瘡の重症度 | 入院時の褥瘡（③の患者の入院時の状況） | 院内発生した褥瘡（④の患者の発見時の状況） |
| ｄ１ | 名 | 名 |
| ｄ２ | 名 | 名 |
| Ｄ３ | 名 | 名 |
| Ｄ４ | 名 | 名 |
| Ｄ５ | 名 | 名 |
| ＤＤＴＩ | 名 | 名 |
| ＤＵ | 名 | 名 |

［記載上の注意］

１．①については、報告月の前月の初日の入院患者数を記入する（当該日の入院または入院予定患者は含めないが、当該日の退院または退院予定患者は含める。）。

２．②については、①の患者のうち、DESIGN-R2020分類ｄ１以上を有する患者数を記入する（１名の患者が複数の褥瘡を有していても、患者１名として数える。）。

３．③については、②の患者のうち、入院時に、DESIGN-R2020分類ｄ１以上を有する患者数を記載する（１名の患者が複数の褥瘡を有していても、患者数１名として数える。）。

４．④については、②の褥瘡保有者数から③の入院時褥瘡保有者数を減じた数を記入する。

５．⑥については、③の入院時褥瘡保有者について、入院時の褥瘡の重症度、④の入院中に新たに褥瘡が発生した患者について、発見時の重症度を記入する。